

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期中富良野町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道中富良野町

3 地域再生計画の区域

北海道中富良野町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1960年の10,801人をピークに減少しており、2020年（令和2年）時点では4,733人となっている。国立社会保障・人口問題研究所の2023年推計によると、2050年時点では2,708人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1960年の3,842人をピークに減少し、2020年には594人となる一方、老年人口（65歳以上）は1960年の507人から2020年には1,731人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1960年の6,452人をピークに減少傾向にあり、2020年には2,408人となっている。

自然動態をみると、出生数は2005年の56人をピークに減少し、2024年には12人となっている。その一方で、死亡数は2024年には85人と増加の一途をたどっており、出生数から死亡数を差し引いた自然増減は73人の自然減となっている。

社会動態をみると、概ね転出超過（社会減）が続いており、2024年には転入数229人、転出数247人で18人の社会減となっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創

出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会源に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 中富良野町の特性を活かした経済基盤の発展
- ・基本目標2 中富良野町への新しい人の流れを生み出す
- ・基本目標3 子育てが、子ども自身が幸せを感じる環境づくり
- ・基本目標4 誰もが住みたくなる魅力あるまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	平均所得	1,964千円	1,964千円	基本目標1
イ	年間転入者数	166人	190人	基本目標2
ウ	出生数	12人	15人	基本目標3
エ	年間転出者数	190人	190人	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期中富良野町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 中富良野町の特性を活かした経済基盤の発展を図る事業
- イ 中富良野町への新しい人の流れを生み出す事業
- ウ 子育てが、子ども自身が幸せを感じる環境づくり事業
- エ 誰もが住みたくなる魅力あるまちづくり事業

② 事業の内容

ア 中富良野町の特性を活かした経済基盤の発展を図る事業

基幹産業である農業分野において農業後継者の確保、新規参入者の受け入れや農業リーダー育成を実施。また、基本技術の励行、コスト低減を図ることや、多様な担い手が地域の営農を安定的に継続できるよう、最新技術の導入を進め、農作業の省力化等を図る事業

商工業における経営の安定化・活性化に向けて、商工業者の自主的な取組に対する支援を行い、後継者・新規参入者の育成、新規事業の創出を促し、商品開発や販売促進等へつなげる事業

多様化する観光ニーズに対応した取組を行うことで交流人口及び雇用を創出し、観光情報発信や観光等の拠点整備等を行い、地域活性化を図る事業

【具体的な事業】

- ・産業担い手サポート事業
- ・商工観光みらい応援事業
- ・観光交流センター（駅前観光案内施設）整備事業 等

イ 中富良野町への新しい人の流れを生み出す事業

SNS等を通じて移住・定住の促進に向けた行政情報を積極的に公開し、一人でも多くの移住者・定住者の確保に向けて取り組む事業

地域間交流を通じて人材・産業交流の輪を広げ、地域おこし活動に意欲のある地域外の人材の積極的な受け入れや、新たな人の流れを生み出すテレワーク・ワーケーションを推進する事業

町の魅力発信と産業の振興を図る、ふるさと納税事業

【具体的な事業】

- ・広報「なかふらの」発行事業
- ・テレワーク推進事業
- ・ふるさと納税事業 等

ウ 子育てが、子ども自身が幸せを感じる環境づくり事業

地域における子育て支援サービスの充実を図り、子どもたちの多様な体験活動の機会の提供や、結婚を希望する人々への支援をする事業

安心して子どもを産み、育てることができるよう保険事業を展開し、家事・育児と仕事の両立支援に取り組む事業

子どもたちの「いきる力」を育むため、学校のICT関連の環境整備を推進して社会の変化に対応した教育の充実を図り、様々な交流や体験活動を通じて子どもたちの育成に資する事業

【具体的な事業】

- ・なかふっこ託児応援事業
- ・子ども・子育て支援事業
- ・青少年育成推進事業

エ 誰もが住みたくなる魅力まちづくり事業

局地的な自然災害の増加や災害の大規模化・複雑化に対する、防災組織活動支援や訓練を通じた人材育成、防災・減災体制の強化を図る事業

社会インフラとして地域社会や経済を支える地域公共交通や、町道、橋梁の設備を計画的に整備することで、地域公共交通の維持、確保、利便性の向上を図る事業

生涯にわたる健康づくりを推進するための健康診査やがん検診等の各種検診・事後の保健指導等と健康寿命の延伸を推進する保険事業

【具体的な事業】

- ・自主防災組織等活動補助金
- ・予約型乗合タクシー事業
- ・予防関係事業

※なお、詳細は第3期中富良野町地域総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,500,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度3月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで